

# テランガナ州概要

2025年12月  
在チェンナイ総領事館

## 1 基礎データ

- \* 州都: ハイデラバード
- \* 人口: 3772万5000人(2021年推計)
- \* 面積: 11万2077km<sup>2</sup>(県(District): 33)

- \* 識字率: 66.54%(男性: 75.04%、女性: 57.99%)(2011年)
- \* 宗教別人口比率: ヒンドゥー教; 85.56%、イスラム教; 12.75%、キリスト教; 1.28%(2011年)
- \* 主要言語: テルグ語

## 2 政治

### (1) 州政府

- \* 州知事: ジシュヌ・デヴ・ヴァルマ  
(Jishnu Dev Varma)  
(2024年7月～)
- \* 州首相: A.レバント・レバント・レッディ  
(A.Revant Reddy)(コンGRES)  
(2023年12月～)



レッディ州首相

### (2) 州議会: 二院制

- 下院(定員: 120)(任期5年)(2028年12月任期満了)
  - \* 与党: CONGRES(INC)75、インド共産党(CPI)1
  - \* 野党: インド国民会議(BRS)28、インド人民党(BJP)8、ムスリム評議会(AIMIM)7など
- 上院(定員: 40)(任期6年、2年毎に3分の1の改選)
  - \* 与党: INC6、CPI1、進歩地域教師連合(PRTU)1
  - \* 野党: BRS22、BJP3、AIMIM1

### (3) 概況

2014年のアンドラ・プラデシュ州との分離独立後、ラオBRS政権が2期9年にわたり一貫して政権を握り、比較的順調に経済を拡大。しかし、現政権批判などから、2023年12月の州議会選挙で、CONGRESが勝利し、レッディ新州首相が就任。またBJPも議席を増加。

## 3 経済

### (1) 主要指標

- \* 名目州内総生産(GSDP): 16兆4090億ルピー(2024年度)
- \* 1人当たり所得: 38万7623ルピー(2024年度)
- \* 実質GSDP前年度比成長率: 12.25%(2024年度)  
←11.53%(2023年度)

### (2) 特徴

主要産業はIT、製薬、繊維、鉱物など。国内有数のIT都市であるハイデラバードにはマイクロソフト、アップル、グーグル、アマゾンなどのグローバル企業が進出。

医薬品原薬はインド全体の生産高の40%、輸出高の50%を占める。州政府はハイデラバード近郊で2025年までに約19,000エーカーの製薬産業集積地ファーマシティを整備予定。

産業構成比は第一次産業17%、第二次産業19%、第三次産業64%(2024年度)。

### (3) 日系企業の動向

進出日系企業拠点数は169(2024年10月現在)。主な進出企業は東芝(送配電機器製造販売)、日立製作所、ニプロ(医療機器販売)、アルバック(真空装置等販売)、大気社(クリーンルーム)など。

日本企業によるインドの高度技術人材採用を促進するため、インド工科大学ハイデラバード校学生向けの日本企業説明会「JAPAN DAY」をJETROとJICAが毎年開催。

2021年、東芝電力流通システム・インド社の人材開発施設内に日本式ものづくり学校(JIM)が開講。

## 4 在留邦人

- \* 在留邦人数: 81人(2025年10月)
- \* ハイデラバード日本人会: 71名(2025年12月)